

第 62 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

1. 日 時:2012 年 11 月 21 日(水)13 時 30 分～15 時 35 分
2. 場 所:日本機械学会 第 1 会議室
3. 出席者:(委員 23 名中、出席者 20 名(うち代理 3 名)、欠席者 3 名)
小溝(阪大)、藤田(三菱重工)、飯田(東電)、木村(NIMS)、三好(川崎重工)、
西村(日立)、大橋(IHI)、佐藤(発電技検)、野井(ロイト)、長谷川(新日鐵)、
築山(パブ日立)、三原(富山大)、天野(早大)、岡(富士電機)、引田(HSB ジャパン)、
西川(自家発懇話会)、鈴木(電源開発)
代理者:井關 [松本(東芝)]、北村[高西(関電)]、長谷川[奥村(中電)]
欠席者:田村(火原協)、奥村(保安院)、屋口(電中研)
オブザーバ:茂田井(東電)
事務局:海野(記)

4. 配付資料

- 62-1 . 第 61 回火力専門委員会議事録(案)
 - 62-2 . 専門委員会・分科会委員案
 - 62-3 . 第 62 回規格委員会議事録(案)
 - 62-4- (1) 材料分科会報告, (2) 構造分科会報告, (3) 溶接分科会報告
 - 62-5 . 発電用火力設備規格 2012 年版出版承認について
 - 62-6 . 発電用設備規格委員会運営規約・審議要領改訂版
 - 62-7 . ファイル共有システム運用について
 - 62-8 . ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の提案
- 参 考 . 2013 年日本電気技術規格委員会の表彰候補者の推薦依頼

5. 議事

- (1) 前回議事録確認 [資料 62-1]
前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。
- (2) 専門委員会委員、役員の承認 [資料 62-2]
 - (2-1) 専門委員会委員の承認
火力専門委員会の以下の新任候補の推薦および以下の委員の再任意向が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で、次回規格委員会に推薦することが承認された。
 - ・ 火力専門委員会:(退任)高須 伸夫委員
(新任候補)鈴木 建哉氏(日電協)
(再任候補)小溝 裕一委員各分科会の以下の新任候補の推薦および以下の委員の再任意向および役員の互選による推薦が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・ 材料分科会: 新任・再任・退任無しが報告された
- ・ 構造分科会: (再任) 小高委員
- ・ 溶接分科会: (再任) 樺田委員
(副主査候補) 樺田委員(再任)
- ・ 配管減肉分科会: 新任・再任・退任無しが報告された

(3) 規格委員会、分科会他報告

(3-1) 発電用設備規格委員会報告

[資料 62-3]

第62回規格委員会の審議内容のうち、火力専門委員会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会の活動状況報告として、火力規格に関する日本電気技術規格委員会(JESC)本委員会の審査結果、及び压力容器国際規格委員会への委員派遣等について報告された。
- ・ 発電用設備規格委員会運営規約・審議要領の改訂について報告された。
- ・ ASME 規格値取り込み方針について ASME の SI 単位規定値採用を基本とすることとし、各専門委員会・発電用設備規格委員会での書面投票を経て内規化することが承認されたことが報告された。

(3-2) 材料分科会報告

[資料 62-4-1]

木村委員(材料分科会主査)が第65回材料分科会(H24.11.19)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2013 年 2 月 18 日(月)に開催予定。

- ・ 次回改訂作業方針として、原稿及び許容応力表のフォーマット、審議履歴表を活用。
- ・ 次回改訂時の作業ルールとして、標準用語リストを活用。また、2012 年版書面投票時の意見対応で次回改訂時に再検討を要する項目を審議、対応案を作成。
- ・ ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規案について審議し、特に意見はないことを確認。
- ・ 構造分科会から検討依頼されている以下の詳細規定第Ⅱ章許容応力表の適用範囲見直しに関する審議。
 - ・ ASME B31.1 材料の第Ⅲ章への適用について
 - ・ JIS 低温用材料の第Ⅲ章からの適用除外について

(3-3) 構造分科会報告

[資料 62-4-2]

飯田幹事(構造分科会主査)が第74回構造分科会(H24.11.16)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2013 年 2 月 7 日(木)に開催予定。

- ・ 材料分科会への検討依頼についての審議。
 - ・ 「ASME B31.1 材料のⅢ章への適用について」と「JIS 低温用材料のⅢ章からの適用除外について」の2件。
- ・ 審議履歴表を元に ASME 2011Addenda のレビュー票審議の状況について報告。

(3-4) 溶接分科会報告

[資料 62-4-3]

茂田井氏(溶接分科会幹事)が、第53回溶接分科会(H24.11.13)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2013年2月5日(火)に開催予定。

- ・ 次回改訂時作業方針の整理を行い、基本規定の改訂作業および JESC 審議資料の作成・審議にあたっては審議フロー案に従い審議することとした。
- ・ 審議履歴表を元に ASME 2011Addenda のレビュー票審議の状況について報告された。

(3-5) 発電用火力設備規格 2012 年版の出版承認について [資料 62-5]

標題の出版が出版センターにより承認されたことが報告された。出版は12月の予定。会告は学会誌1月号にて掲載予定。あわせて販売価格についても報告された。

(3-6) 発電用設備規格委員会運営規約・審議要領の改訂について [資料 62-6]

標題の改訂がなされたことが報告された。先に承認された専門委員会運営規約との違いとして、書面投票意見対応の結果、委員の貢献度をはかる指標として委員会への出席の記載がされた(削除されなかった)ことなどが説明された。

(3-7) ファイル共有システムのローカルルールについて [資料 62-7]

10 月より運用開始しているファイル共有システムの火力専門委員会関連のローカルルールを各分科会間で統一すべきものについて来年2月までに正式決定する予定であることが報告された。

(4) 審議事項

(4-1) ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の書面投票について

[資料 62-8]

原子力専門委員会関係者と検討していた標題の件が、第 62 回発電用設備規格委員会(H24.9)にて、内規化するために書面投票を行うこととされたことについて報告された。内規案の提案説明資料が説明され、火力専門委員会の書面投票開始について審議し、出席委員全員の賛成により書面投票開始が承認された。

(4-2) 2013年日本電気技術規格委員会の表彰候補者について [参考]

JESC より依頼を受けている標題候補者の推薦について発電用火力設備規格2012年版作成に火力専門委員長および材料分科会主査としてご尽力頂き、JESC 審議においても前面に立って対応されたことから木村委員を推薦したい旨、小溝委員長より発言され、出席委員全員の賛成により木村委員を候補者として推薦することが承認された。

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 2 月 26 日(火) 13:30~17:00

場 所: 日本機械学会 第1会議室

以 上